

## 高速回線避雷ユニット

2005. 3 制定

## 仕様書

2023. 9 改訂

概要	本装置は、並列及び直列素子の複合多段構成によるサージエネルギー減衰方式の避雷ユニットで、電源回線に設置し、電源線及び接地線より侵入する雷サージ(JIS C 5381-11 クラス I, II 対応)から負荷設備を保護するものです。本装置の稼動状態をランプ表示及び接点出力します。
品名	高速回線避雷ユニット
型名	ALPK-VAJ3P(T350)E
試験クラス	クラス I 及びクラス II
方式	サージエネルギー減衰方式
適用回線	3φ3W(TT系統), AC200V, 350A(120kVA)電源回線
最大連続使用電圧(Uc)	AC260V
定格負荷電流(I <sub>L</sub> )	350A
電圧降下	0.5V以下
挿入損失	350VA以下
インパルス電流(I <sub>imp</sub> )	25kA/75kA (10/350μs)
公称放電電流(I <sub>n</sub> )	25kA (8/20μs)
最大放電電流(I <sub>max</sub> )	40kA (8/20μs)
防護モード	L-L(ライン-ライン) L-E(ライン-接地) L-N(ライン-中性線)
電圧防護レベル(U <sub>p</sub> )	全防護モード:1.5kV以下 ※公称放電電流(I <sub>n</sub> )にて
残留サージエネルギー	全防護モード:6mJ以下 ※公称放電電流(I <sub>n</sub> )にて
サージエネルギー減衰量	全防護モード:-58dB以上 ※公称放電電流(I <sub>n</sub> )にて
動作速度	3nsec. 以下
続流遮断定格	50kA
状態表示出力	表示 稼動状態をランプ表示 表示内容:アラスタ故障, 分離器動作 出力 異常状態(アラスタ故障, 分離器動作)を無電圧 a 接点出力 接点定格: DC30V, 2A 以下
動作カウンタ	雷サージによる本装置の動作をカウント表示及び接点出力
絶縁抵抗	DC500V, 50MΩ以上(入出力端子一括~フレーム間)
絶縁耐力	AC2200V, 1分間(入出力端子一括~フレーム間)
使用環境	温度 -40~+70℃ 湿度 95%以下(但し結露なきこと)
外形寸法	W600×H1530×D250(mm)
重量	約80kg
分離器	内蔵